

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話：+81-45-717-8575

中国の負極材料生産拡大事業

急激に新エネルギー自動車の需要増加に伴って動力電池の需要が高まり、リチウム電池用負極材料の生産拡大に繋がっている。従来からの負極材料大手企業が積極的に生産拡大を図る一方、初めて同産業へ進出する企業も増えている。負極材料の生産拡大計画を明確にした企業の関連情報を表1に示す。

生産能力を地域で見ると、雲南省、貴州省、四川省、西北地区に集中している。現時点で、リチウム電池と負極材料など関連材料の生産企業が急速な発展を遂げようと、四川省は新エネルギー自動車産業を中心にリチウム電池の産業クラスターを形成する負極材料の新しい生産基地となっている。

増産計画が相次いで打ち出されてはいるが、新規プラントの立ち上げは2022年末以降になり、負極材料市場の供給逼迫は暫く続いていくと予測されている。

表1 企業別の負極材料生産拡大計画

企業	所在地	生産能力計画	稼働計画
深圳市貝特瑞新能源材料股份有限公司	雲南	20万トン/年のリチウム電池用負極材料一体化基地プロジェクト	2023年に第1期の5万トン/年のリチウム電池用負極材料一体化生産ラインを完成する。
中科电气、寧徳時代新能源科技股份有限公司	貴州	10万トン/年のリチウム電池用負極材料プロジェクト	2023年に第1期の6.5万トン/年の負極材料生産ラインの建設を完了する。
江西紫宸科技有限公司（上海璞泰来新能源科技股份有限公司）	四川	20万トン/年のリチウム電池用負極材料プロジェクト	2023年に第1期の10万トン/年の生産ライン、2025年に第2期の10万トン/年の生産ラインの建設を完了する。
深圳市貝特瑞新能源材料股份有限公司、福鞍控股	四川	10万トン/年のリチウム電池用負極材料前駆体と製品の生産ラインプロジェクト	2023年に第1期の5万トン/年のリチウム電池用負極材料前駆体と製品の生産ラインを完成する。
深圳市貝特瑞新能源材料股份有限公司、四川金貝新材料有限公司	四川	5万トン/年のハイエンド人造黒鉛負極材料プロジェクト	2022年に第1期の2万トン/年のハイエンド人造黒鉛負極材料生産ライン、2024年に第2期の3万トン/年のハイエンド人造黒鉛負極材料生産ラインを建設完了して稼働する。
上海杉杉科技有限公司	四川	20万トン/年のリチウム電池用負極材料一体化基地プロジェクト	32ヶ月をかけて2期に分けて建設する。第1期と第2期はそれぞれ10万トン/年である。2023年に第1期の10万トン/年の生産ラインを正式に稼働する。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話：+81-45-717-8575

河北坤天新能源科技有限公司	四川	5万トン/年のリチウム電池用負極材料プロジェクト	2022年末に第1期の2.5万トン/年のリチウム電池用負極材料生産ラインを建設完了して稼働する。
四川金滙能新材料股份有限公司	四川	10万トン/年のリチウムイオン電池負極材料生産基地プロジェクト（9.9万トン/年の黒鉛系負極材料+1,000トンのSi/C負極材料）	2022年末に第1回目の生産ラインを建設完了して稼働開始する。
洛陽月星新能源科技有限公司	四川	5万トン/年のリチウム電池Si/C負極材料プロジェクト	/
広東羚光新材料股份有限公司	四川	2万トン/年のリチウム電池用負極材料生産拡大プロジェクト	2022年に2万トン/年の黒鉛化プロジェクトパークの建設を完了する。
芦山古德孚新能源科技有限公司	四川	16万トン/年のリチウム電池用負極材料プロジェクト	/
龍佰集团股份有限公司（中炭新材料）	河南	10万トン/年のリチウムイオン電池用人造黒鉛負極材料プロジェクト	2022年に2.5万トン/年の生産ラインを建設完了して試運転を始める。
青海天藍新能源材料有限公司	青海	3万トン/年の高性能リチウムイオン電池負極材料一体化プロジェクト	第1期の3万トン/年のリチウム電池用負極材料黒鉛化生産ラインが稼働している。2023年に第2期の3万トン/年のリチウム電池用負極材料全プロセス生産ラインを完成する。
宝武炭業科技股份有限公司	甘肅	10万トン/年の負極材料生産ライン、10万トン/年の黒鉛化設備生産ライン	現在建設中で、2023年に建設完了して稼働する。
深圳市貝特瑞新能源材料股份有限公司	深圳	4万トン/年のシリコン系負極材料プロジェクト	2023年12月末までに1.5万トン/年のシリコン系負極材料生産装置を建設完了して稼働する。2028年までに4万トン/年のシリコン系負極材料生産能力を実現する。

情報源：ICC 資訊より整理、作成。